

福島の子を湘南へ招待

藤沢市や寒川町の住民でつくる「福島の子ども達を湘南に呼ぼう！」実行委員会（今井清二代表）は25日、福島市の児童養護施設「福島愛育園」に入所する2～18歳の89人と保育士ら40人を8月に招待すると発表した。藤沢市が夏休み中の学校を宿舍に提供、江ノ島電鉄も電車やバスの運賃を無料にして協力する。

【永尾洋史】

これに先だち「福島量が高く、外で遊ぶ時の子どもたちとともに間を2時間に制限して・湘南の会」（青柳節子代表）も7月、福島県南相馬市の親子30人を湘南など県内に招待する。ともに招待は来年以降も続ける考えで、湘南と福島の間が深まっている。

愛育園周辺は放射線

今夏に児童養護施設の129人

放射線で外遊び時間不足

招待は8月20～24日と決定。警備上や事故発生の懸念から藤沢市教委の一部に慎重論があったが、鈴木恒夫市長の決断で、エアコンを完備した市立白浜養護学校と高砂小学校で宿泊する。江ノ電は電

体「エコネット」が中心になって、湘南で遊んでもらおうと招待を決めた。7月22～25日に招待し、自然に触れてもらおう。2泊する横浜市青葉区の「こども国」は無料で宿泊を受け入れてくれた。

南相馬の親子30人も

車や展望灯台入場などを無料にする。愛育園の斎藤久夫園長は「子どもたちのストレス解消になる」と喜ぶ。

実行委員会、「湘南の会」とも寄付を募っており、それぞれ問い合わせは羽田一郎・実行委事務局長（046

南相馬市の親子たち
6・62・8777）と、
の悩みも同じ。原発の
青柳代表（080・5
勉強会を続ける市民団
099・4264）。



「海だっ！」湘南を満喫 福島の子ら、地引き網

福島市の児童養護施設「福島愛育園」で暮らす5～18歳の子どもら約80人が21日、藤沢市の鵜沼海岸で地引き網を楽しんだ。被災地支援に取り組む藤沢市や寒川町の住民が寄付を募って招待。20～24日、各地で観光などを楽しむ。

「海だっ！」。きらきら光る波を見

て、砂浜に駆け出す。目の前に江の島、水平線上に伊豆大島、振り返れば富士の頂。放射能の影響で、屋外での遊びが1日2時間ほどに限られる日常のうっぷんを晴らすかのように、はしゃいだ。地引き網はアジやシラスで大漁。バーベキューも楽しみ、湘南の海を満喫した。

福島市の施設の59人招き

毎週

大地引き網祭り

鵜沼海岸
2012年

一生懸命に地引き網を引く福島と湘南の子どもたち
|| 藤沢市の鵜沼海岸で

福島市の児童養護施設「福島愛育園」の5

〜18歳の59人を招待し

て、藤沢市の鵜沼海岸

で21日、「大地引き網

祭り」が開かれた。横

浜市や湘南地方の各市

から約400人の親子

も加わり、「ソーレ」

と声を掛け合いなが

ら、力を合わせて懸命に網を引いていた。

愛育園の子どもたち

は福島第1原発事故の

ため、1日2時間以内

しか外で遊べない。県

内のNPOが結集し、

湘南で夏休みを過ごし

てもらおうと招待。地

引き網を通じた県内の

子どもたちとの交流を

呼びかけたところ参加

申し出が相次ぎ、地元

の漁業会社「堀川網」

の協力で実現した。

シラスやアジなどの



大漁に愛育園の室田

海斗君(10)は「久しぶ

りに海を見て楽しかつ

た」と喜んだ。藤沢市

片瀬の保育園児、原田

亜友ちゃん(5)は「魚

がいっぱい取れて面白

かった」とにっこりし

ていた。

実行委員会の羽田一

郎事務局長は「年3回

ずつ息の長い招待を続

けたい」と語り、愛育

園の斎藤久夫園長は

「子供だけでなく私も

リフレッシュした。あ

りがたい」と話してい

た。

【永尾洋史】